

# アルファ・ウイン 企業調査レポート

## アグロ カネショウ

(4955 東証一部)

発行日：2019/2/20

アルファ・ウイン 調査部

<http://www.awincap.jp/>

### ● 決算速報

#### ◆ 2018年12月期決算～前期比増収営業増益

・同社の2018/12期業績は、売上高15,411百万円(前期比5.6%増)、営業利益2,157百万円(同2.9%増)、経常利益2,161百万円(同3.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,301百万円(同32.3%減)であった。親会社株主に帰属する四半期純利益が減益であったのは、前期において、環境省の要請を受け福島工場を国に譲渡したことに伴う補償金収入等による特別利益があったためである。製品の種類別売上高は下記の通りである。

1. 土壌消毒剤は8,706百万円(前期比2.9%増)であった。北海道の天候不順からネマキック粒剤が低調となるなど国内向けの不振を海外向けが補い、土壌消毒剤全体としては増収を確保した。
2. 害虫防除剤は3,187万円(同17.0%増)。海外向けの殺ダニ剤カネマイトフロアブルが、米国での流通在庫調整が終わり大幅増収となったことが貢献した。
3. 除草剤は1,523百万円(同0.2%減)。アークエースは前期を上回ったが、水稻向けのカソロン粒剤について、ホームセンターでの店頭販売を政策的に抑制したことが影響し、除草剤全体はほぼ横ばいであった。
4. 病害防除剤は919百万円(同8.5%増)。2018年1月に上市した野菜向けの兼商クプロシールドが貢献、前年同期に低調であったキノンドー顆粒水和剤が伸長、また兼商ストライドも好調であった。兼商クプロシールドの製造元はエス・ディー・エス バイオテック(4952 東証二部)で、販売代理店は同社とほくさん(北海道北広島市)である。
5. その他は1,073百万円(同4.9%増)。家庭園芸関連は前期比横ばいであったが、薬剤が葉に付きやすくする展着剤、植物成長調整剤が好調で、その他全体で増収となった。

・販売費及び一般管理費(以下、販管費)は前期比1.1%増、対売上高比率は27.7%と同1.3%ポイント低下したものの、採算性の低い海外向け増収により売上総利益率が41.7%と同1.7%ポイント低下したことから営業利益増益率は増収率を下回った。

#### ◆ 2019年12月期予想業績

・同社の2019/12期業績予想は、売上高15,881百万円(前期比3.0%増)、営業利益1,660百万円(同23.1%減)、経常利益1,662百万円(同23.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益975百万円(同25.1%減)と増収、営業減益予想である。製品の種類別売上高、売上総利益率、販管費の予想は開示していない。

・同社想定として、山口新工場の竣工(2018年11月)により減価償却費が増加することで売上総利益率が低下見込みであること、研究開発費の増加、2018年12月に買収した害虫防除剤ダズバンののれん償却費発生により販管費の増加を見込んでいる。

・アルファ・ウイン調査部(以下、当調査部)は、売上高16,000百万円(前期比3.8%増)、営業利益1,700百万円(同21.2%減)、経常利益1,702百万円(同21.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益980百万円(同24.7%減)を予想する。

・同社予想と当調査部予想の主な差異は、売上高については、同社が慎重に見込んでいると思われる土壌消毒剤を8,900百万円(前期比2.3%増)とし、害虫防除剤については3,580百万円(同12.3%増)と二桁成長を維持すると予想したこと起因すると考える。営業利益以下の利益予想については、売上高予想の増額修正によるものと思われる。

### ショートレポート

1/3

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

- ・ 害虫防除剤売上高予想の前期比伸び率が二桁増であるのは、2018/12 期に買収した害虫防除剤ダズバンと 2019/12 期央には新規登録が期待される害虫防除剤ヨーバルの貢献を見込んだためである。
- ・ 同社は 2021/12 期を最終年度とする新たな中期事業計画を公表した。2021/12 期業績は、売上高 17,600 百万円 (2018/12 期比年率 4.5%増)、営業利益 2,800 百万円 (同 9.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 1,600 百万円 (同 7.1%増) の計画である。売上高については、害虫防除剤 (ダズバン及びヨーバル) の貢献、利益面では増収及び山口新工場の定率償却費の減少を見込んだものと思われる。
- ・ 当調査部の中期業績予想は、2021/12 期について売上高 17,100 百万円 (2018/12 期比年率 3.5%増)、営業利益 2,160 百万円 (同ほぼ横ばい)、親会社株主に帰属する当期純利益 1,300 百万円 (同ほぼ横ばい) を予想する。当調査部予想が会社計画を下回る理由は、新製品 (ダズバン及びヨーバル) の売上貢献と採算性の高い国内売上高構成比について、同社より慎重に見込んでいたためと思われる。

【 4955 アグロ カネショウ 業種：化学 】図表 A

決算期	売上高	前期比	営業利益	前期比	経常利益	前期比	純利益	前期比	EPS	BPS	配当金
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(円)	(円)	(円)
2016/12	14,314	-1.9	2,063	-14.8	2,102	-20.5	1,285	-11.6	101.15	1,236.43	22.0
2017/12	14,587	1.9	2,096	1.6	2,094	-0.4	1,922	49.5	152.11	1,406.75	22.0
2018/12	15,411	5.6	2,157	2.9	2,161	3.2	1,301	-32.3	102.99	1,451.23	22.0
2019/12 CE	15,881	3.0	1,660	-23.1	1,662	-23.1	975	-25.1	77.10	—	22.0
2019/12 E	16,000	3.8	1,700	-21.2	1,702	-21.3	980	-24.7	77.35	1,502.74	22.0
2020/12 E	16,570	3.6	1,945	14.4	1,947	14.4	1,150	17.3	90.77	1,571.51	22.0
2021/12 E	17,100	3.2	2,160	11.1	2,162	11.0	1,300	13.0	102.61	1,652.12	22.0

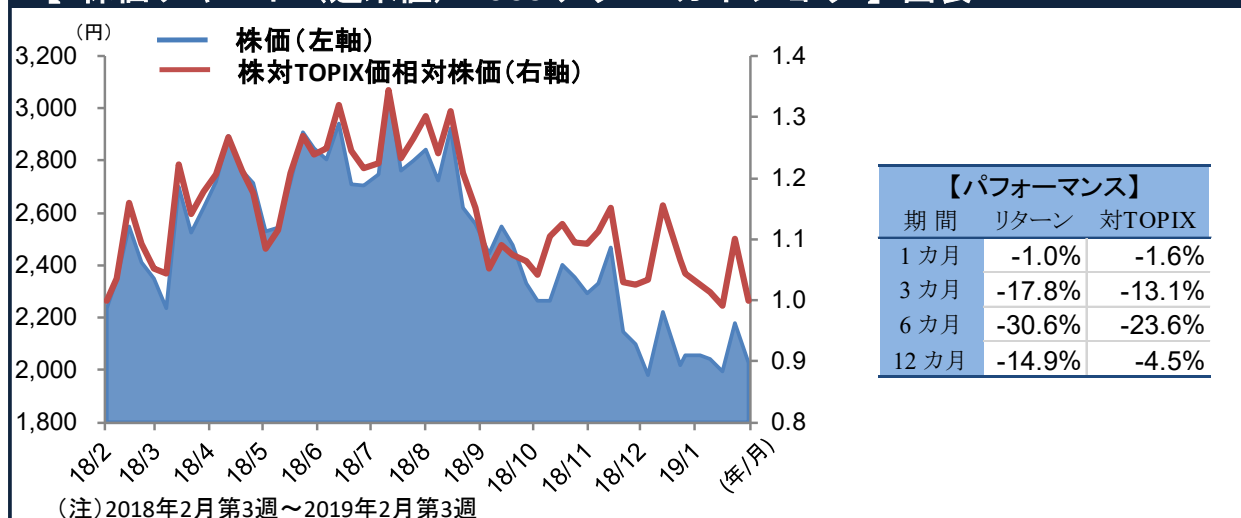
(注) CE：会社予想、E：アルファ・ウイン調査部予想

【 株価・バリュエーション指標：4955 アグロ カネショウ 】図表 B

項目	2019/2/15	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株 価 (円)	2,029	前期実績	19.7	1.4	1.1%	14.5%
発行済株式数 (千株)	13,404	今期予想	26.2	1.4	1.1%	28.4%
時価総額 (百万円)	27,198	来期予想	22.4	1.3	1.1%	24.2%
潜在株式数 (千株)	0	前期末自己資本比率	60.3%	前期ROE	7.2%	

(注) 予想はアルファ・ウイン調査部予想

【 株価チャート (週末値) 4955 アグロ カネショウ 】図表 C



## ディスクレーマー

アルファ・ウインショートレポートは、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。連絡は、電子メール【[info@awincap.jp](mailto:info@awincap.jp)】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務を負いません。

取材や客観的な事実に基づいて、極力、中立的な立場からレポートの記載に努めています。また、会社による予想や判断と弊社による予想及び判断を区分し、記載するようにしております。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【[info@awincap.jp](mailto:info@awincap.jp)】にてお願いいたします。